

宇治市議会議長 堀 明 人 様

宇治市議会 議会運営委員会  
委員長 真 田 敦 史



### 議会改革に関する調査・検討について（答申）

令和3年6月10日付で議長から本委員会に諮問のあった議会改革に関する調査・検討事項について、令和3年6月14日の本委員会において協議することを確認し、以降、本委員会委員5名で構成する議会改革に関する小委員会を設置し、議論を重ねてきた調査・検討結果について、下記のとおり答申します。

### 記

#### 【諮問:議会改革に関する調査・検討事項】

1. 新型コロナウイルス感染症の危機の中、取り組んできたICTの活用をさらに発展させ、議会活動のさらなる活性化を目指したICTの活用のための基本的な考え方について
2. 新型コロナウイルス感染症の危機も含め、今後予測される大規模災害が発生しても議会が機能を維持しその役割を果たすための基本的な考え方について
3. 市民の信託にこたえ、宇治市議会がより一層その役割を果たすために必要な、一般質問や議案審議、委員会審査や執行部への資料要求などのあり方及び議場・委員会室など議会棟の設備改修の基本的な考え方について

#### 【議会運営委員会 議会改革に関する小委員会委員(5名)】

- 座長 (自民党宇治市会議員団) 木本 裕章
- 委員 (うじ未来) 真田 敦史
- (日本共産党宇治市会議員団) 大河 直幸
- (公明党宇治市会議員団) 稲吉 道夫
- (日本維新・京都宇治党) 秋月 新治
- 開催状況 計14回(令和3年7月3日～令和5年3月1日)

## 【調査・検討結果】

諮問1 新型コロナウイルス感染症の危機の中、取り組んできたICTの活用をさらに発展させ、議会活動のさらなる活性化を目指したICTの活用のための基本的な考え方について

### 1. ICTの活用の基本的な考え方について

#### (1) ICT活用について

##### 1) オンライン会議について

- 令和4年度に、宇治市議会として、Zoomの有料のアカウントを導入した。
- Zoomを利用し、建設・水道常任委員会及び議会運営委員会議会改革に関する小委員会の研修をオンラインで開催した。
- Zoomを利用し、市民と議会のつどいをオンラインで開催した。
- オンライン会議の開催基準や傍聴機会の確保などの方策、法制度の整理などについては、引き続き検討を行う。

##### 2) ペーパーレス化について

- ペーパーレス化に向け、本会議及び議会運営委員会で使用する資料の整理を行った。
- 紙媒体の委員会資料を準備の上、委員はタブレット端末で資料を閲覧する方法により、議会運営委員会を開催した。
- ペーパーレス化に向け、議員が紙媒体に必要な資料は印刷できるように、タブレット端末から印刷できるカラープリンターを整備した。
- 令和5年3月定例会の付託日に開催される議会運営委員会及び本会議を、ペーパーレスで試行開催した。
- 紙媒体資料の廃止時期等については、引き続き検討を行う。

##### 3) 議会運営の効率化について

- 議会スケジュールなどの情報について、議員間で正確かつ迅速に共有するために、タブレット端末内にあるスケジュール管理やメールのアプリケーションソフトを活用し、情報共有化など議会運営の効率化に取り組んだ。

##### 4) 本会議や常任委員会などへの活用について

- 臨場感ある本会議の中継など、議会の情報発信力向上のため、可動式大型液晶ディスプレイを整備し、議場や委員会室等において、タブレット端末と共に積極的に活用していく。

5) 大規模災害発生時などにおける活用について

- 大規模災害などが発生した場合におけるタブレット端末でのオンライン会議や、可動式大型液晶ディスプレイを活用した災害状況の共有のための活用方法について、引き続き検討を行う。

6) 研修について

- 議員のタブレット端末の利用向上のため、議会運営委員会において、全議員を対象に、タブレット端末の活用に係る研修を4回実施した。
- 議会でのICT活用を推進するために、ICT活用が推進されている越前市議会と、オンライン会議による研修会を実施した。

諮問2 新型コロナウイルス感染症の危機も含め、今後予測される大規模災害が発生しても議会がその機能を維持しその役割を果たすための基本的な考え方について

1. 大規模災害が発生しても機能する議会の基本的な考え方について

- 災害協定（宇治市・越前市災害時相互応援に関する覚書）を締結している越前市議会と、オンライン会議による研修会を実施した。
- 災害協定（災害時相互応援協定書）を締結している那覇市議会とオンライン会議による研修会を実施し、業務継続計画（那覇市議会BCP）の概要について、説明を受けた。
- 全市に被害が及ぶような大規模災害が発生した場合であっても、議会の機能を維持し議員としての責務を果たすため、議会内で共有する基本的な考え方や手順などを整理した業務継続計画を策定していくに当たり、まずは、大規模災害発生時等の議員の基本的な行動基準等についての申し合わせを作成し、引き続き、業務継続計画について、検討を行う。

諮問3 市民の信託にこたえ、宇治市議会がより一層その役割を果たすために必要な、一般質問や議案審議、委員会審査や執行部への資料要求などのあり方及び議場・委員会室など議会棟の設備改修の基本的な考え方について

1. 一般質問や議案審議、委員会審査のあり方について

- 一般質問の機能と課題について、議員間で課題認識の共有を図るため、法政大学法学部土山希美枝教授を講師に、議会運営委員会研修を開催した。
- 市民にわかりやすい一般質問のあり方については、質問時間、質問通



告のあり方、開始予定時刻の伝え方などについて、検討を進めてきたが、今後、新たな議場システムの運用や可動式大型液晶ディスプレイやタブレット端末の活用の検討とあわせて、引き続き検討を行う。

- あわせて、議案審議、委員会審査のあり方についても、引き続き検討を行う。

## 2. 執行部への資料要求のあり方について

- 資料要求の基本的な考え方等についての申し合わせの作成など、引き続き検討を行う。

## 3. 議会棟の設備改修の基本的な考え方について

### (1) 議会棟の設備の状況

#### 1) 議場の設備

- ICTの積極的な活用による議会活動の活性化や大規模災害などが発生した場合における議会活動の維持を目指して、議会活動の最も重要な施設である議場の音響設備等の改修を行い、令和5年3月定例会から運用を開始した。また、可動式大型液晶ディスプレイの活用を図っていく。
- 議場の傍聴席へのモニター設置と聴覚障害者の傍聴への対応については、他市での対応状況などをふまえながら、引き続き検討を行う。

#### 2) 委員会室の設備

- 令和4年度内に、各委員会室のインターネット中継の配信用カメラの更新とマイク設備の設置により、音響設備の改修を実施する。
- 新型コロナウイルス感染症対策の中で十分に活用が図れていない第1委員会室と第2委員会室の活用方法については、引き続き検討を行う。

#### 3) 大規模な災害や非常事態が発生した場合に必要な議会棟の設備

- 大規模災害などの発生時に、外部からの電力供給が途絶えた際の非常用電源などの電力確保の手段について、業務継続計画の策定作業の中で、引き続き検討を行う。

#### 4) その他

- 議員の登庁状況を表示している議会表示盤や、本会議及び委員会の開催状況を表示する案内板の設置については、第1委員会室や第2委員会室の活用方法の検討等にあわせ、引き続き検討を行う。

以上